

卑劣で露骨な人権無視の切崩し

不当労働がいつぱい

議院にからんで連泊はじ

会社が職制を勧めしの取扱いの前後を中心に会社、職制、第二組合は一体となつて露骨な説教や、悪らつな脅かし、期末手当差額のエサ、子弟の就職あつせんなど卑劣な手段で恥しらずな切崩しをやり、「過半数突破」と大々的な宣伝をやつて組合員の動搖を狙つているが、彼等の人権を無視した暴力的な切崩しに組合員は、過半数突破というコケ寄りをのりこえ、いよいよ团结をかためこの切崩しの怒りを組織しようと闘いの態勢づくりに真剣になつてゐる。

会社が職制を勧めしの取扱い

具体といふのはねじりくつてば、お盆に会社員が固着した伝單に詳細に記してあるので省略するが、そな氣の沙汰である。

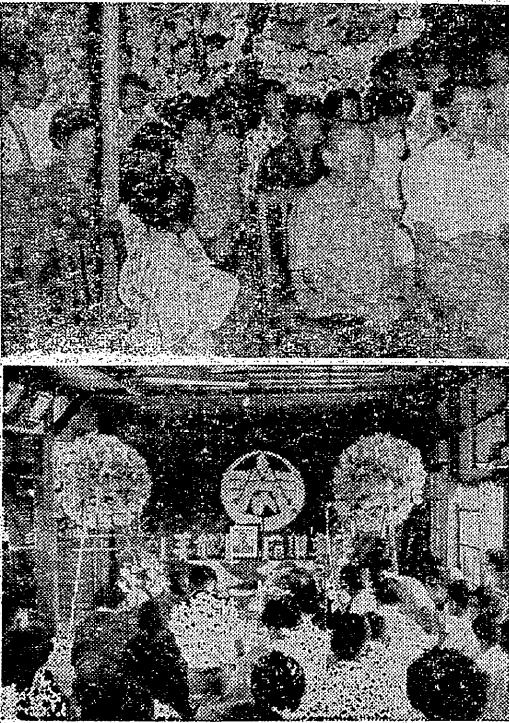
第二組合がこれ見よがしに「新労切崩し運動所と会員を並べて行なつた」という露骨ぶりの宣伝が、その狂氣の沙汰である。切崩し運動所と会員を並べて行なつたといつて昼夜不分のまま行なわれておらず、不当労働行為でいつぱいある。組合ではその事実も証拠を手にし、じつま現状の闇をもつててあるが、司職しないなど實害で人権を無視して行なわれてくるが、その

盆行事で团结強化

慰靈祭、盆踊りと多彩

就労後はひじめて出たお盆に、各地域でははじめて会員の切崩しをねのけい田舎強化の諸行事を盛大にくりひつけた。海水浴、キャンプ、露園会、露營流し、演芸会として、やはり一番多くのが露營であった。海水浴、キャンプを主体として地域給付で「田舎のくつと海」でレクリエーションを始めたのしみ、本所支部の原方田、東方、若葉、新津、平井七ヶ、ひまわり会などが出来た。

三川支部では十四、四山、大谷で合同慰靈祭十五に開催され、東方田会では四山支部大谷分會では



完成は十一月の予定

完成場所

十四日をもぞれ合同慰靈祭を行なつた。

</div